

第20期考古学セミナー

—古代から近世の木簡と木製品—

講義5

馳上遺跡の木遺品と文字資料

公益財団法人 福島県文化振興財団

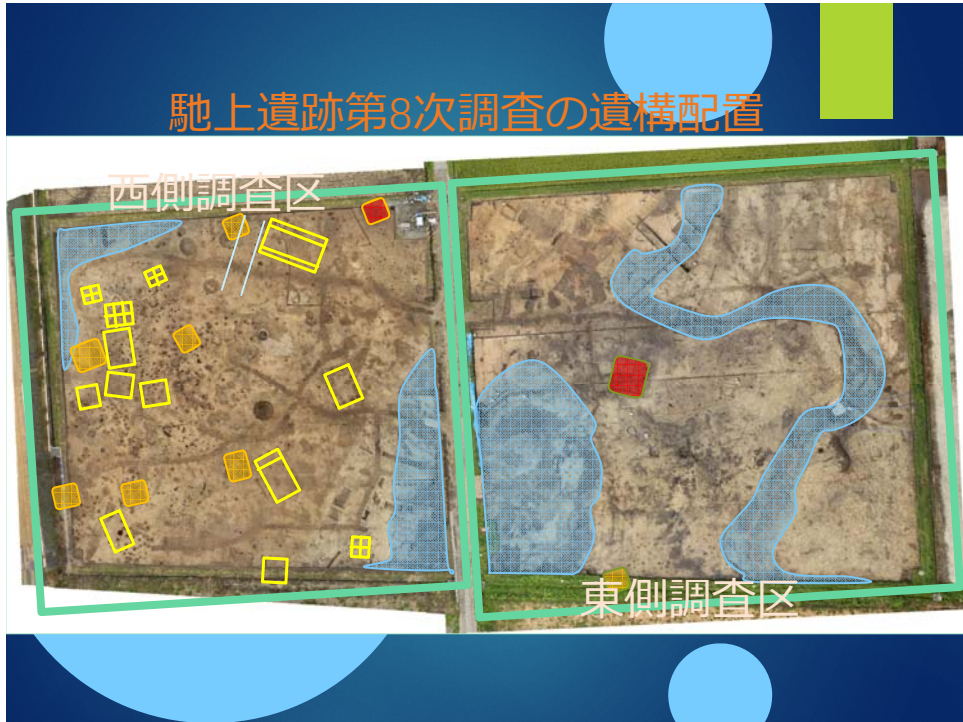
渡辺 和行 氏

平成30年11月4日（日）

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

馳上遺跡の出土木製品と文字資料





掘立柱建物跡



総柱建物 (倉庫)



側柱建物

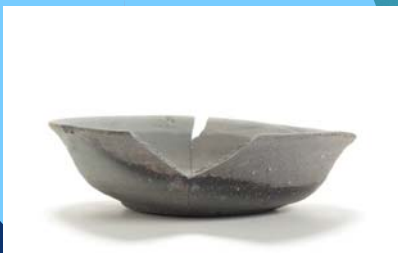
竪穴住居の完掘状況



木製品以外の出土遺物



須恵器 高台坏



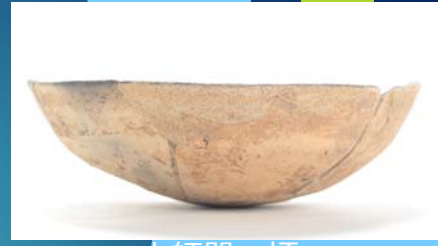
須恵器 坏



須恵器 長頸壺



土師器 坏



土師器 坏



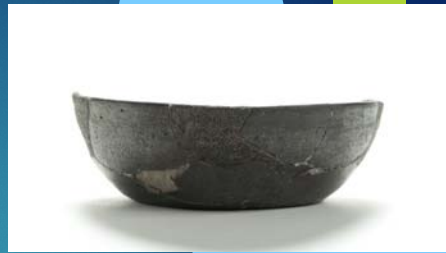
黒色土器 内黒坏



土師器 小甕



坏



坏



耳皿

黒色土器 両面黒色処理した坏



横瓶



紡錘車（漆でコーティング）



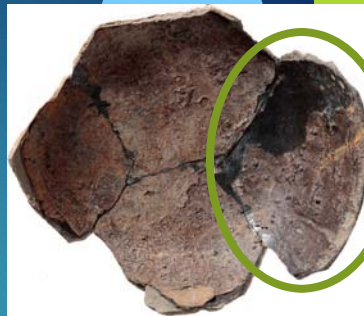
円面硯



黒色土器（内黒）



漆付着の状態（外面）



漆付着の状態（内面）

漆の中に閉じ込められた
ガガンボダマシ



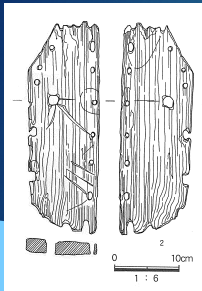
遺跡の特徴

古墳時代前期から始まり、6世紀から7世紀前半までの空白期ののち9世紀まで継続的に続く集落。

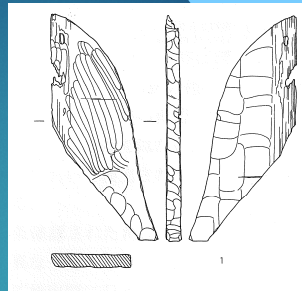
規則的な建物配置は確認されず、集落内を流れる河川の流路に合わせて集落の配置が変更される。

古代の集落においては特殊な遺物が散見される。

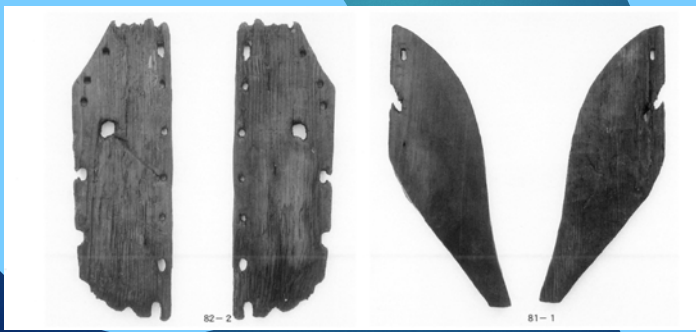
第1次調査で出土した木製品



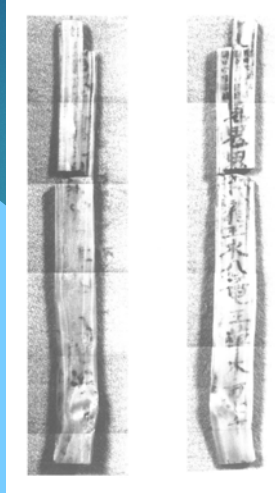
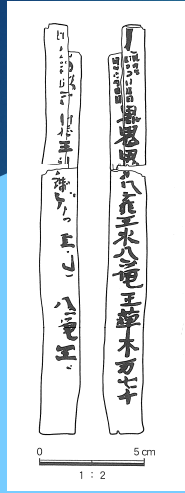
大足



板状木製品



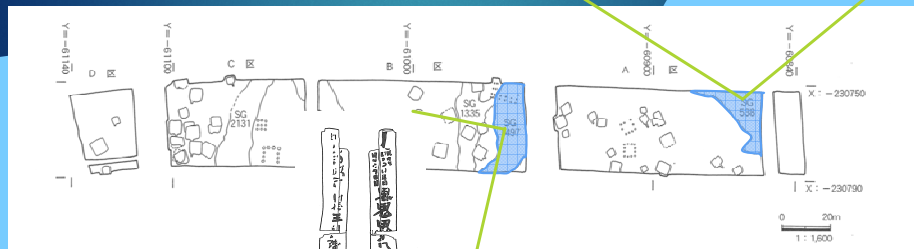
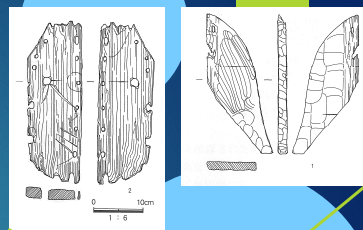
第1次調査で出土した木簡



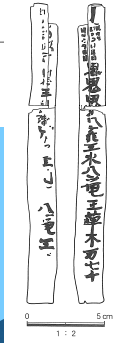
「□(符縁) 鬼鬼鬼」
 「八龍王水八龍王草木万七千」
 「□□龍王□□龍王」
 「□□□□□□□□八龍王」

木製品を出土した河川

河川跡SG538出土



河川跡SG1497出土



第8次調査で木製品を出土した河川



木製品を出土した河川の断面



大型・特殊容器



食器具



漆器



皿？



皿？



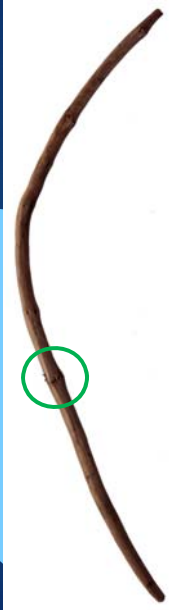
須恵器 甕



須恵器 蓋

漆が付着している土器

武器・祭祀具？

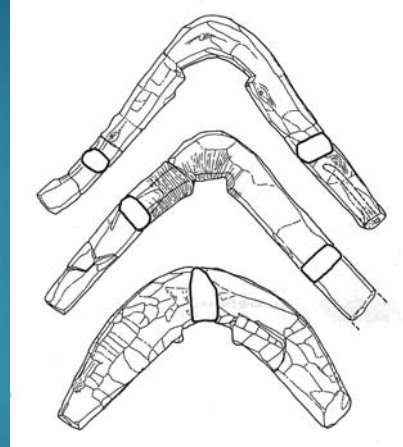


弓

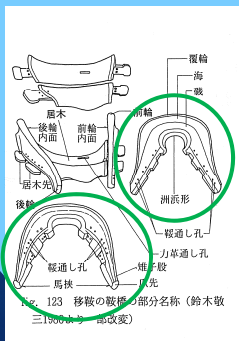


陽物？

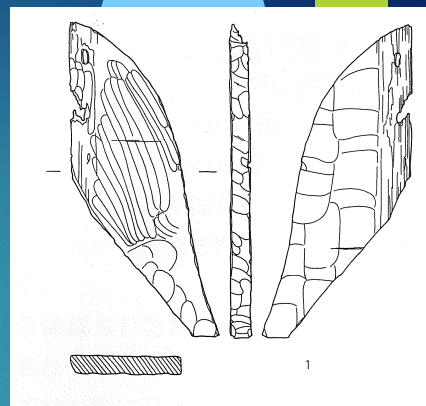
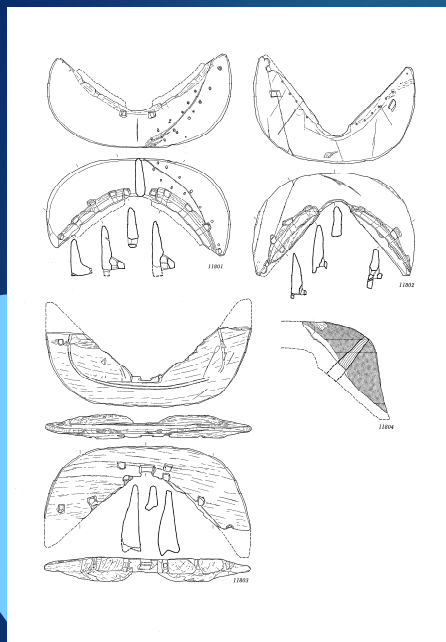
馬具



荷鞍の未成品か？



静岡県 居倉遺跡出土木製品



1次調査で出土した板状木製品は鞍の前輪か後輪が破損したものの可能性がある。

木器集成に載る鞍の前輪か後輪

農具・装飾品



鋤



横槌



横櫛

建築部材・その他



杭？

火付け具？



炭化した木材



加工された木材



加工された木材

木簡

□
道
□

上
万
上
万
万
万
万

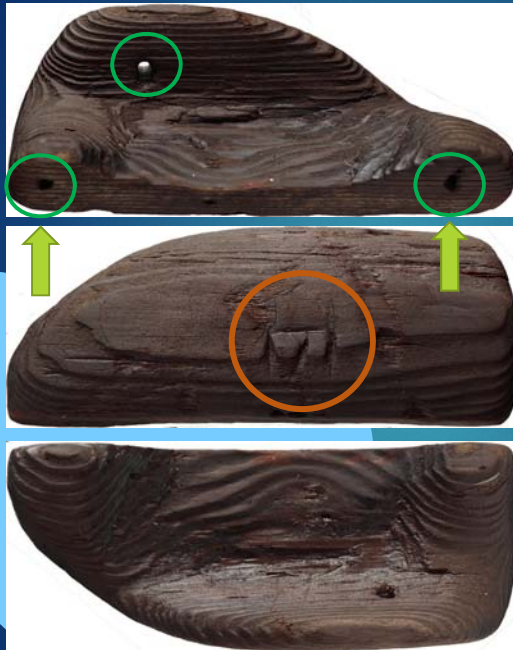
杏
鬼
□
□

表

裏

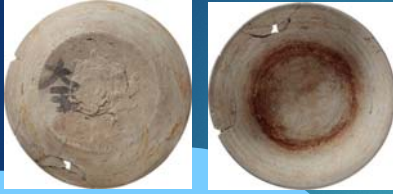
□?

占
部
子
黒^カ里^カ
不
十



正?という文字
が確認された。

墨書土器



須恵器坏「大王」



黒色土器「大王」

8世紀中葉から後半



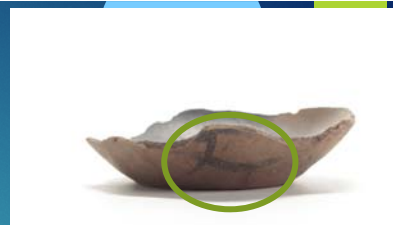
須恵器坏「王」

9世紀



黒色土器「王」

打ち欠き行為が明瞭な土器



土師器坏「丈王」

体部および底部に墨書がある土器





須恵器坏「大呆」
転用硯として使用
された土器



須恵器坏「吉」
一度「王」と書き、その後
に書き直した土器

刻書土器



黒色土器「吉」



「王」



黒色土器「大□」



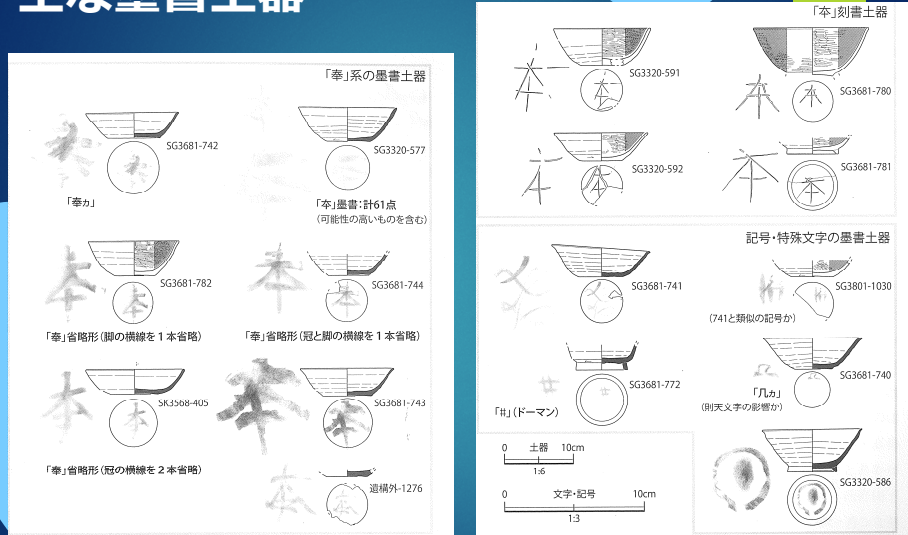
黒色土器「王□？」



黒色土器「王」

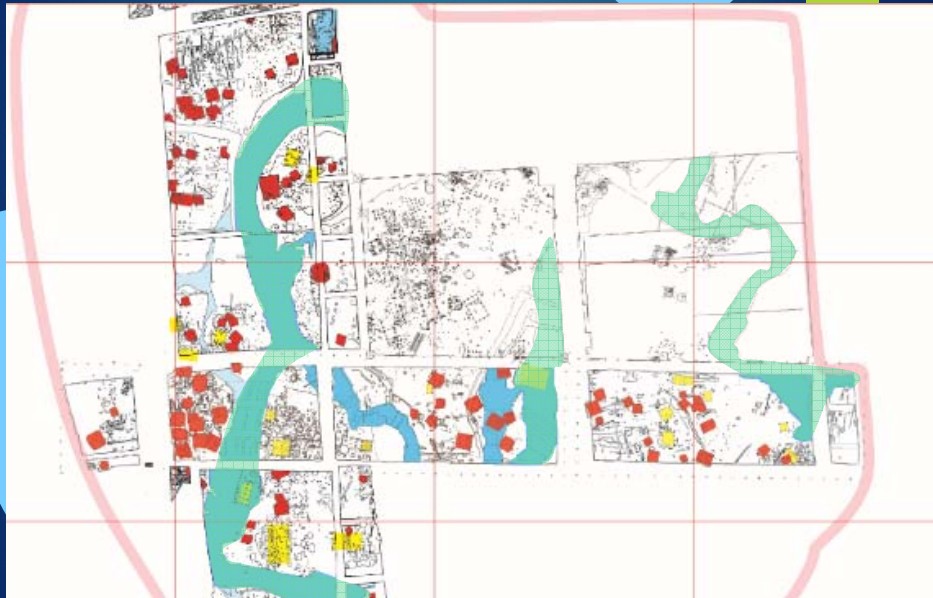


第2次調査から第6次調査で出土した 主な墨書土器



奉るの略字やドーマンなどが確認された。

木製品及び主な文字資料が出土した遺構の位置



まとめ

(1) 木製品に炭化した箇所が見られ、火付け具と思われるものも出土していることから、火を使用した何らかの行いがされた。

(2) 8世紀中ごろと9世紀代では墨書土器の「大」の文字が省略されている。

(3) 木筒の内容から当時の公的機関に近いしい場所に馳上遺跡は存在した。

(4) ほとんどが河川跡からの出土であることから河川に関する何らかの意識が当時の人々に存在している。